

## (臨床研究に関するお知らせ)

### 和歌山県立医科大学附属病院消化器外科に、胃粘膜下腫瘍で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学消化器外科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用させて頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

#### 1. 研究課題名

胃粘膜下腫瘍に対する内視鏡腹腔鏡併用手術における有効性安全性に関する後ろ向き観察研究

#### 2. 研究責任者

和歌山県立医科大学外科学第2講座 講師 尾島敏康

#### 3. 研究の目的

胃内発育型の胃粘膜下腫瘍に対して、内視鏡・腹腔鏡併用胃部分切除術 (LECS) の有用性・安全性について、手術手技、術後合併症、術後の臨床経過に関して後ろ向き観察研究において検討します。これまで当科で施行してきた腹腔鏡補助下胃部分切除、胃内手術の結果と比較検討することにより、胃内発育型胃粘膜下腫瘍に対する至適術式を模索することを本研究の目的とします。

#### 4. 研究の概要

##### (1) 対象となる患者さん

胃粘膜下腫瘍の患者さんで、平成13年1月1日から平成27年12月31日までの期間中に、摘出手術を受けた方

##### (2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、術後早期合併症発生頻度、手術経過、術後経過、術後全生存率に関する情報です。

##### (3) 方法

胃内腔発育型胃粘膜下腫瘍に対して手術を施行した178例を対象に患者背景 手術成績 長期成績(再発の有無)を調査します。術式別に統計学的な解析を行います。

#### 5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

#### 6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

#### 7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学外科学第2講座 担当医師 尾島敏康

TEL : 073-441-0613 FAX : 073-446-6566  
E-mail : tojima@wakayama-med.ac.jp